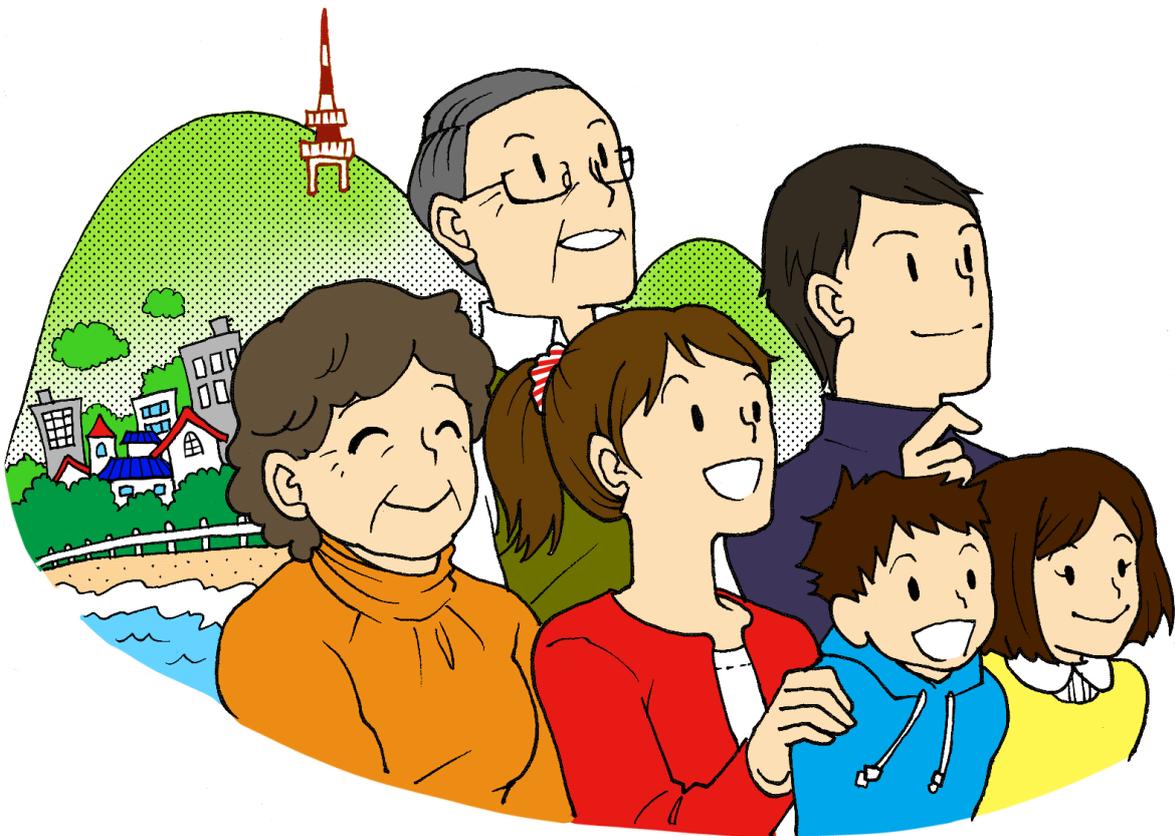


基本目標 4 【地力を伸ばす産業】

～ 活力とにぎわいに満ちたまち ～



【関連する主な分野】

産業政策、商業、工業、農業、海業^{*}、観光、新しい産業、就労環境、消費者保護

平塚に根付いている産業の地力を伸ばし、また新しい産業の創出によって、市民の豊かな暮らしに貢献する産業をめざします。同時に、多彩な担い手を育てることで、活力とにぎわいが持続するまちをめざします。

達成方針

4-① <持続可能>

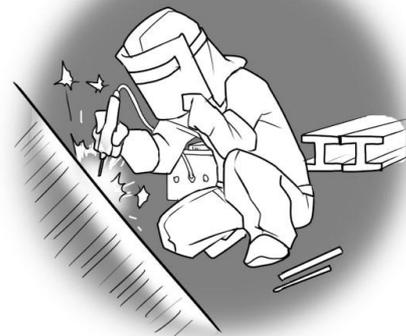
産業の発展を持続させる

4-② <熟成>

市民の豊かな暮らしに貢献できる産業として成熟させる

4-③ <新しい芽>

リーダー、後継者が育ち活躍できる環境をつくる



達成方針4-①

<持続可能>

産業の発展を持続させる

めざすまちの姿や暮らしの状態

- 今まで積み重ねてきた技術が活かされている
- 産業間の交流が盛んになり、まちがにぎわっている
- 平塚産がブランド化され、全国に広まっている

現状と課題

- 本市には、県下上位の製造品出荷額を誇る工業、「商都平塚」と呼ばれた商業、生産高県下上位の米やバラ・きゅうり・いちごなどの特産品が有名な農業、相模湾沿岸の新鮮な幸を扱う漁業が存在しています。
- 新たな価値創造への挑戦と地域産業の安定した発展に向け、産業間の交流や連携を深めながら経営の効率化と強化を図る必要があります。
- 顧客や観光客の誘致、販路開拓を行うため、国内外の都市・ひとに対して本市の生産品や魅力を積極的に売り出すことが求められています。
- 自然災害など緊急事態の発生時に事業資産の被害を最小限にとどめ、事業の早期復興や継続性を高めるための計画づくりや準備が事業者にあります。
- 工業は、これまで比較的堅調に伸びてきましたが、近年の金融不況や円高により製造品出荷額が減少傾向となり、経営基盤や競争力の強化を図ることが求められています。
- 商業は、郊外で大規模小売店の出店が見られるものの、市内全体での商店数の減少により、商店街の活力低下が懸念されています。
- 農業では、就労者の高齢化や後継者不足のため、安定した農業生産の維持確保とともに、農地や農業生産基盤の保全等への影響が懸念されています。
- 漁業を安定した産業とするため、水産資源や漁場環境の保全、漁港や水産関連施設の整備が必要となっています。

施策体系

【達成方針】

4-① <持続可能[※]> 産業の発展を持続させる

【基本施策】

1. 産業の持続的な発展に向けて、基本的な理念と戦略を確立する
2. 産業の経営基盤を強化する
3. 世界の市場を視野に入れて、産業間の交流や産学公の連携[※]を進める

基本施策

1. 産業の持続的な発展に向けて、基本的な理念と戦略を確立する

- ◆ 平塚市産業振興計画に基づき、産業の活性化に向けた連携の体制づくりを進めます。
- ◆ 発想・技術・情報・ニーズの連携を図るとともに、観光開発・新製品開発・販路拡大などを進めるため、分野横断的な取組みを支援します。
- ◆ 農地の貸借等を促進するとともに、農地の利用集積を図ります。

【個別施策】

- 1 産業活性化の推進
- 2 農地の確保と利用の促進

2. 産業の経営基盤を強化する

- ◆ 経営指導、研修などを行い、戦略的な経営を行う力を育てるとともに経営の体質強化・効率化・安定化を促進します。
- ◆ 産業の持続的発展に向け、経営基盤の整備や産業の集積に努めます。
- ◆ 経済情勢の変化や社会的課題並びに事業者の事業展開に対応した金融支援を行います。
- ◆ 災害時などの緊急事態を想定し、事業資産の被害を最小限にとどめ、事業の早期復興や継続性を高めるための事業継続や早期復旧を可能とするための事業継続計画等の導入促進や啓発に取り組みます。

【個別施策】

- 1 商業活性化と魅力ある身近な商店街の形成
- 2 活力ある企業づくりの促進
- 3 力強い農業生産環境の充実
- 4 新しい海業拠点の整備推進
- 5 金融支援による産業活性化
- 6 災害対応力の促進

3. 世界の市場を視野に入れて、産業間の交流や産学公の連携※を進める

- ◆ 社会のニーズや時代の最先端を意識しながら、産学公の連携※による技術研究・製品開発を進め、世界の市場に通用する平塚の生産・開発の力を育てます。
- ◆ 広域的な産業間、企業間の交流を通じて、販路拡大や技術力向上とともに、新しい事業の創出を進めます。また、人材や資機材の共用、資源回収・リサイクル・エネルギー利用の共同化などの企業連携を促進します。

【個別施策】

- 1 研究開発・技術力向上の推進
- 2 産業間の交流の推進
- 3 産学公の連携※の推進

主な事業 《持続可能》

- ◆ 工業活性化の促進（基本施策 2－個別施策 2）
- ◆ 農業基盤整備の推進（基本施策 2－個別施策 3）
- ◆ 産業間・産学公の連携促進（基本施策 3－個別施策 2・3）

市民と市の役割

● 市民 ●

- ◇ 生産技術の継承
- ◇ 融資制度の有効的な活用
- ◇ 産業間の交流

● 市（行政） ●

- ◇ 市内産業の活性化のための基盤整備
- ◇ 企業支援制度の拡充
- ◇ 産業間の交流の促進
- ◇ 国、県、他市町村との連携促進による施策展開
- ◇ 市民、NPO法人※、企業、関係団体などとの連携促進や支援
- ◇ 産・学交流の場の提供

成果指標の推移

■『優良な農地が多く、農家と都市住民の交流が進むなど、農業が充実している』と感じている市民の割合

(市民意識調査)

計画策定時	23年度		28年度目標値
	目標	実績	
11.9%	15.0	18.6	20.0 → 25.0

【備考】上記の実績値は平成23年8月のもの。この実績値が既に28年度目標値に近づいたため、当初設定した目標値から上方修正します。

■農業算出額※(年間)

(神奈川農林水産統計年報)

計画策定時	23年度		28年度目標値
	目標	実績	
5,880 百万円	5,880	—	6,208 → 指標廃止

【備考】国による公表がされなくなり、実績値の把握ができなくなったため、指標を廃止します。

■『魅力ある商店街の形成など、商業が充実している』と感じている市民の割合

(市民意識調査)

計画策定時	23年度		28年度目標値
	目標	実績	
7.1%	15.0	3.5	25.0

【備考】上記の実績値は平成23年8月のもの。

■年間商品販売額

(平塚市の商業 — 平成19年商業統計調査結果報告)

計画策定時	23年度		28年度目標値
	目標	実績	
668,098 百万円	680,000	743,099	700,000 → 744,000

【備考】上記の実績値は平成19年6月1日現在のもの。この実績値が28年度目標値を上回ったため、当初設定した目標値から上方修正します。

■事業所数(商業)

(平塚市の商業 — 平成19年商業統計調査結果報告)

計画策定時	23年度		28年度目標値
	目標	実績	
2,636 事業所	2,650	2,510	2,700

【備考】上記の実績値は平成19年6月1日現在のもの。

■『先端技術をもつ企業の集積など、工業が充実している』と感じている市民の割合

(市民意識調査)

計画策定時	23年度		28年度目標値
	目標	実績	
16.6%	18.0	11.5	20.0

【備考】上記の実績値は平成23年8月のもの。

■製造品出荷額等(年間)

(平塚市統計書)

計画策定時	23年度		28年度目標値
	目標	実績	
1,382,363 百万円	1,400,000	927,598	1,450,000

【備考】上記の実績値は平成21年12月31日現在のもの。

■事業所数(製造業)

(平塚市統計書)

計画策定時	23年度		28年度目標値
	目標	実績	
454 事業所	460	409	470

【備考】上記の実績値は平成21年12月31日現在のもの。

■ 漁業経営体数		(担当課資料)	
計画策定時		23年度	28年度目標値
6 経営体	目標	6	6 → 9
	実績	7	

【備考】上記の実績値は平成 22 年度のもの。この実績値が 28 年度目標値を上回ったため、当初設定した目標値から上方修正します。

■ 漁獲量（年間）		(平塚市統計書)	
計画策定時		23年度	28年度目標値
456 t	目標	460	470 → 700
	実績	682	

【備考】上記の実績値は平成 22 年中のもの。この実績値が 28 年度目標値を上回ったため、当初設定した目標値から上方修正します。

■ 『マリンレジャー・スポーツと一体となるなど、漁業が充実している』と感じている市民の割合
(市民意識調査)

計画策定時		23年度	28年度目標値
10.5%	目標	15.0	20.0
	実績	13.8	

【備考】上記の実績値は平成 23 年 8 月のもの。



紅谷町まちかど広場



湘南ひらつかテクノフェア

達成方針 4-②

〈熟成〉

市民の豊かな暮らしに貢献できる
産業として成熟させる

めざすまちの姿や暮らしの状態

- 市民（消費者）と供給者とのコミュニケーションが深まり、信頼関係が築かれている
- 産業が身近に感じられるような、ふれあいの機会がある
- 地産地消^{*}が進み、地元の産物にみんなが誇りをもっている
- 事業者の社会的責任を果たした経営が行われている
- 産業情報が積極的に発信され、情報の入手が容易になっている
- 地域のニーズに合った産業活動が行われている

現状と課題

- 農業は、良好な自然環境や居住環境、教育環境の形成に大きく寄与しています。しかし、近年では、農業人口の減少に伴い、活力が維持しにくくなってきており、遊休農地*の存在などによって、食料自給や環境保全の場としての機能低下が懸念されています。
- 市民の食に関する安心・安全への意識の高まりを背景に、生産者と市民の交流や地産地消*への取組みが広がり、本市の農業が充実していると感じている市民が増えてきています。
- 郊外への大規模小売店の進出や市民の生活様式の変化などにより、商店街の空洞化が見られるようになっていきます。
- 事業者には安心・安全な市民生活に寄与する産業の展開が、市民には地場産業や地産地消*へのより一層の理解が求められています。
- 近年、漁業は漁獲量が増加傾向にありますが、魚価の低迷が課題となっており、販路拡大が求められています。
- 本市には、平塚八景を代表とする自然景観、季節を彩る花々、ひらつか花アグリや観光農園など多様な地域資源があります。これらの活用や、近隣市町との広域観光のさらなる取組みが求められています。
- 高齢者などに対する消費者被害が増加しており、多様化・複雑化・悪質化する消費者トラブルに対応するため、情報提供、各種講座の開催などによる被害未然防止策及び相談体制の一層の充実が求められています。

施策体系

【達成方針】

4-② <熟成> 市民の豊かな暮らしに貢献できる産業として成熟させる

【基本施策】

1. 市民が身近に感じられ、生活に密着した産業を展開する
2. まちのにぎわいづくりに結びつく産業を展開する

基本施策

1. 市民が身近に感じられ、生活に密着した産業を展開する

- ◆ 地産地消*と食を通じて農業・漁業を身近に感じ、その重要性についての認識を高めるため、地域の商店や直売所、インターネットなどを利用し、地場産物が気軽に消費できる流通のしくみを活用した販売促進を図ります。
- ◆ 農業と漁業の連携や販売拠点の拡大により、平塚産品の消費拡大を促進します。
- ◆ 事業所や商店街と市民の多様な交流を通じて、地域のニーズに合った事業活動や、高齢者への対応など暮らしを支えるサービスを充実していきます。
- ◆ 市民農園*や農作業指導、体験学習、学校給食への地場産物の活用など、市民と農業の様々なふれあいを充実し、田園を舞台とした交流を促進します。

【個別施策】

- 1 地産地消*・食農教育*の推進
- 2 市民と事業者の交流の推進
- 3 市民と農業のふれあいの促進
- 4 市民の暮らしを支えるサービスの促進
- 5 地場産業の振興
- 6 安全で豊かな消費生活の推進

2. まちのにぎわいづくりに結びつく産業を展開する

- ◆ たくさんの方が平塚を訪れて滞在し、観光と交流を楽しめるよう、里山や田園、海、川、史跡などの観光資源の発掘、農業・漁業体験の場などの充実を図ります。
- ◆ 見る・触れる・食べる・学ぶなどの体験を通じた産業と観光の連携や、近隣市町との広域観光を進めます。

【個別施策】

- 1 交流と体験を通じた産業の振興
- 2 観光資源の活用と産業観光*の推進

主な事業 《熟成》

- ◆地産地消^{*}の推進（基本施策1－個別施策1）
- ◆消費者啓発・保護の推進（基本施策1－個別施策6）
- ◆産業観光の推進（基本施策2－個別施策2）

市民と市の役割

● 市民 ●

- ◇生活と市内産業の関係についての理解
- ◇商店や大型店での地場製品の販売
- ◇市内産業に関する事業への参加
- ◇消費者意識の高揚

● 市（行政） ●

- ◇市内産業に関する情報提供
- ◇地場製品の消費の促進
- ◇食農教育^{*}の推進
- ◇消費生活活動の推進
- ◇消費者保護の充実
- ◇観光資源の発掘・活用

成果指標の推移

■地場産農産物直売所数 (担当課資料)			■農産物直売所販売額 (年間) (担当課資料)		
計画策定時		23 年度	28 年度目標値	見直し時	28 年度目標値
30 箇所	目標	40	45	570,000 千円	655,000 千円
	実績	32	→ 指標変更		

【備考】上記の実績値と見直し時の数値は平成 22 年度中のもの。地産地消^{*}の推進を図るとともに、農業者の経営意欲の向上にも寄与する直売所は、今後とも農業振興には欠かすことができないうえ、消費者の期待も大きい。平成 24 年度以降は、成果指標を『地場産農産物直売所数』から『農産物直売所販売額 (年間)』へ変更し施策を推進します。

■『優良な農地が多く、農家と都市住民の交流が進むなど、農業が充実している』と感じている市民の割合 (再掲) (市民意識調査)			■『消費者保護や消費生活についての学習の体制が充実している』と感じている市民の割合 (市民意識調査)		
計画策定時		23 年度	28 年度目標値	計画策定時	
11.9%	目標	15.0	20.0	7.0%	目標
	実績	18.6	→ 25.0		実績
					28 年度目標値
					14.0

【備考】上記の実績値は平成 23 年 8 月のもの。この実績値が既に 28 年度目標値に近づいたため、当初設定した目標値から上方修正します。

【備考】上記の実績値は平成 23 年 8 月のもの。

■『マリンレジャー・スポーツと一体となるなど、漁業が充実している』と感じている市民の割合 (再掲) (市民意識調査)			■『平塚市内で観光が充実している』と感じている市民の割合 (市民意識調査)		
計画策定時		23 年度	28 年度目標値	計画策定時	
10.5%	目標	15.0	20.0	6.5%	目標
	実績	13.8			実績
					28 年度目標値
					15.0

【備考】上記の実績値は平成 23 年 8 月のもの。

【備考】上記の実績値は平成 23 年 8 月のもの。

■学校給食で使用している地場産野菜などの種類 (担当課資料)			
計画策定時		23 年度	28 年度目標値
23 種類	目標	24	25
	実績	24	

【備考】上記の実績値は平 22 年度中のもの。



田植え体験



魚まつり朝市



湘南ひらつか花火大会

達成方針4-③ 〈新しい芽〉

リーダー、後継者が育ち
活躍できる環境をつくる

めざすまちの姿や暮らしの状態

- 多様な担い手が活躍している
- 退職者などがもつ知識やノウハウが受け継がれている
- 誰もがいきいきと働いている
- ベンチャー企業^{*}や新規参入企業が生まれ育っている

現状と課題

- ICT*・環境技術などの成長が期待される分野を始めとした様々な分野での起業を進め、地域経済の活性化につなげる取組みを促進する必要があります。
- 労働人口の減少が進むなか、高齢者や女性、若年離職者・フリーター*・ニート*などが、地域のなかで多様な活躍をしていけるための支援の促進等が求められています。
- 産業の持続的な発展を進めるため、環境への配慮など、社会的課題に対応した担い手を育成するための支援が求められています。
- 性別や障がいの有無などによる差別がなく、夢と誇りをもち、能力に応じて、いきいきと働ける環境の整備を促進することが求められています。

施策体系

【達成方針】

4-③ <新しい芽> リーダー、後継者が育ち活躍できる環境をつくる

【基本施策】

1. 新しい産業が芽生え、育つ環境づくりを進める
2. 新しい価値観や豊富な行動力をもった担い手が、継続的に育成されるしくみをつくる
3. 就業における処遇の公正化及び男女雇用機会の均等化並びに雇用の安定拡大を図る

基本施策

1. 新しい産業が芽生え、育つ環境づくりを進める

- ◆ 起業に向けた情報の蓄積・提供、リスクや費用負担の低減、オフィス確保の支援、経営指導などの支援を充実します。

【個別施策】

1. 新しい産業の育成・支援

2. 新しい価値観や豊富な行動力をもった担い手が、
継続的に育成されるしくみをつくる

- ◆ セミナーの開催などを通じて、多様な担い手を育成します。
- ◆ 農業経営の組織化、認定農業者*への誘導、栽培漁業*や沿岸漁場*の活性化などを通じて、持続的に農業・漁業に従事しやすい環境を整えます。

【個別施策】

- 1 担い手の育成と支援
- 2 後継者の確保

3. 就業における処遇の公正化及び男女雇用機会の均等化並びに
雇用の安定拡大を図る

- ◆ 就業における処遇の公正化と男女雇用機会の均等化を促進します。
- ◆ 県や関係機関などとの連携により、就労に向けた問題解決への支援や就労機会の拡大を進めます。

【個別施策】

- 1 充実した就業環境の整備
- 2 就労に向けた支援と機会の拡大

主な事業 《新しい芽》

- ◆ 担い手の育成（基本施策 2－個別施策 1）
- ◆ 労働セミナー（基本施策 3－個別施策 1）

市民と市の役割

● 市民 ●

- ◇ 起業へのチャレンジ
- ◇ ベンチャー企業*などに対する理解・支援
- ◇ 後継者の育成
- ◇ 職業能力の向上や自己啓発、職業訓練への主体的な参加
- ◇ 就業における処遇の公正化の推進
- ◇ 男女雇用機会の均等化の推進
- ◇ 雇用の安定拡大の推進

● 市（行政） ●

- ◇ 起業の支援体制の強化
- ◇ 新しい産業分野に関する情報提供
- ◇ 後継者の育成支援
- ◇ 総合的な就労支援の場の提供
- ◇ 求人情報や各種助成制度などの情報提供
- ◇ 多様な働き方の支援
- ◇ 労働、職場環境に関する相談支援

成果指標の推移

■労働力人口に占める完全失業者数の割合

(平塚市統計書から算出)

計画策定時	23年度		28年度目標値
	目標	実績	
6.2%	5.0	6.2	4.0

【備考】国による調査結果公表上の理由から、上記の実績は策定時と同じ平成17年10月1日のもの。

■『男女共同参画や人権擁護など、自由で平等な地域社会となっている』と感じている市民の割合【再掲】

(市民意識調査)

計画策定時	23年度		28年度目標値
	目標	実績	
13.7%	16.0	12.9	18.0

【備考】上記の実績値は平成23年8月のもの。

■認定農業者※数

(担当課資料)

計画策定時	23年度		28年度目標値
	目標	実績	
149 経営体	164	241	→ 指標変更

■新規認定農業者※数(累計)

(担当課資料)

見直し時	28年度目標値

【備考】上記の実績値と見直し時の数値は平成22年度中のもの。この実績値が28年度目標値を上回り成果を得ることができたため、平成24年度からは、成果指標を『認定農業者数』から『新規認定農業者数』へ替え、新たな担い手の確保を促進し支援します。

■起業家育成のためのセミナーへの参加者数(年間)

(担当課資料)

計画策定時	23年度		28年度目標値
	目標	実績	
40人	40	42	→ 45

【備考】上記の実績値は平成22年度中のもの。この実績値が28年度目標値を上回っているため、当初設定した目標値から上方修正します。



稚魚の放流



農業後継者による生産物直売